

新年度がはじまりました

4月8日(木)に新任式、始業式が行われ令和3年度が始まりました。午後には、入学式が教室で行われ、全入学生が教室で呼名され入学を許可されました。新入生を代表して、高橋七望さん(岩沼西中出身)が宣誓し、入学への心構えと抱負を述べ相原來未さん(3年:中田中出身)が校歌を独唱で披露しました。



新入生宣誓

第四十三回入学生代表

高橋 七望

(岩沼西中出身)

例年より早く桜が咲き誇り、春の心地よい風が吹くこの日に私たち二六〇名は、宮城県名取北高等学校への入学を許可されました。大変な時期にも関わらず、私たちのために素晴らしい入学式を開いていただきありがとうございます。

私たちが今、名取北高等学校の入学式の場に立つことができるのは、家族や先生方、地域の方々などの支えがあったからです。そのような方々を今度は私たちが支える側となり、恩返しと共に、新たな自分作りのために日々努力していきます。

私たちは、これから始まる新たな高校生活に期待もあります。おそろく、辛いこともたくさんあると思います。しかし、仲間とともに困難を乗り越え、一日一日を意味あるものとし、最後まで充実した高校生活を送ることをここに宣誓いたします。

令和三年四月八日



入学式 式辞 要旨

宮城県名取北高等学校長 挽地裕之

ご入学 おめでとうございます。

保護者の皆様方の御参列の中で、入学式を挙げる予定でしたが、宮城県の新型コロナウイルス感染症の陽性者数が全国で一番多くなり、4/5からは緊急事態宣言に準じる「まん延防止等重点措置」が適用となりました。仙台市内の医療機関では病床数の逼迫もあり、これ以上感染者を増やすことはできません。

入学後の学校生活に支障をきたさないよう、また生徒・保護者のみなさんの安心安全の確保を最優先いたしました。つきましては、校長式辞の要旨をここに示し、生徒の皆さんと親御さんがともに共有できる一助としたいと考えました。

高校三年間を過ごすに当たり 校長として生徒諸君に対し三つの指針をお伝えしたいと思います。

一つ目は、「さまざまな体験を積極的にすること」です。二つ目は、「さまざまな体験からかけがえない言葉を紡ぎ出すこと」です。そして三つ目は、「生きて今あることに謙虚に感謝すること」です。

インターネットを始めとした通信機器の普及に伴い、人として体験しているはずの原体験が不足しているように思われます。動画やSNSで間接的に知るのではなく、皆さん自身の「五感」を総動員して生身の身体で感じてほしいのです。仮想現実で感じた気にならない。直接現場へ赴き、あなたのその目で見て触れて感じ取ってほしいのです。

どんな物事にも「意味」があり、人はたくさんの体験を通して学び取ってきました。体験をそのままにするのではなく、その体験から「意味」を見出し、それに「ことば」を与えることが大切なのです。行動をしたら考える時間を創ること。一日に五分でも振り返りの時間を持ちましょう。熟成された「体験」が、かけがえのない「経験」となって甦ります。

さまざまな体験を通して「言葉を紡ぎ出す」とは、「学ぶ」ということそのものです。それができるのは「いまここに命がある」からです。考えてみれば 人が生きることは「奇跡」に近い。東日本大震災から十年、震災の爪痕は深く復興の道のりもまだ遠い。そして今度は、新型コロナウイルスが私たちに猛威を振るっています。生きることは実に過酷です。次から次に新たに課せられる人類への課題。私たちはそれらを解決すべく努めなければなりません。

自ら希望を創り出し、前へ前へと進んでいきましょう。

たいへん厳しい時代を迎えましたが、まずできることから取り組み、一日一日を大切に過ごす中から、希望の光が見えてくるものと思います。

保護者の皆様も子供たちとともに励まし合いながら、高校三年間を過ごしてまいりましょう。

どうぞよろしくお願い申し上げます。



教室での呼名



校長式辞

対面式を行いました

4月9日（金）に対面式を行いました。新入生と、上級生が初めて顔を合わせる式ですが、新型コロナウイルス感染防止の観点から、1年生は体育館で、2・3年生は教室での実施となりました。齋藤律希生徒会長（逢隈中出身）から歓迎の言葉が話され、新入生代表として岩本紗佳（槻木中出身）さんから北高生となる決意表明が話されました。



新入生代表の言葉

岩本 紗佳（槻木中出身）

今日は、私たち新入生のためにこのような場を設けてくださりありがとうございます。私はこの名取北高校の一員になったことをとてもうれしく思います。私はこれから始まる高校生活に期待と少しばかりの緊張と不安を抱えています。中学校よりも難しく速い授業についていけるか、新しい生活に慣れていけるかなど、不安なことがたくさんあるですが、積極的にいろんなことに挑戦し、一所懸命頑張っていきたいと思えます。また先輩方からのアドバイスを受けて、三年間の高校生活をとても充実したものにしていきたいです。上級生の先輩方にたくさん迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、一日でも早く、名取北高校にふさわしい生徒になれるよう頑張ります。先輩方これからよろしく願います。

人事異動に伴い、四月に新しい先生方が赴任されました。今月は、学校生活適応支援員の安住真理子先生にインタビューしました。安住先生は、亘理町在住で、昨年までは小学校で心の支援員としてお仕事をなさっていました。

学校生活適応支援員 安住 真理子 先生



今のお仕事に就かれた理由は？

大学時代、障害児教育を学んできました。ボランティアで学校や施設へ行き身体的な理由で普通の生活ができない子や自分の感情コントロールが苦手な子など多様な子供たちに出会っていました。そのような子供に学校生活の中で寄り添っていきたくと思いました。

現在のお仕事の楽しさや魅力は？

学校では、勉強や生活を通してたくさんの方の生徒や先生とふれあえます。そしていろいろな経験の中から多くのことを学び、自分を高めていける場所だと感じています。その生活の中で、子供達と触れ合い、寄り添う中で、一人でも多くの子供が笑顔で活動できるようになった時に喜びを感じます。

このお仕事での一番の思い出は？

昨年までは小学校で働いていました。学校生活に悩んでいる子供が、少しずつ変化し、笑顔が増え輝いた表情を見た時に、とてもうれしく思いました。

日頃から心がけていることは？

目配り、気配り、思いやりを持って接すること。相手の気持ちを考えて寄り添うこと。そしていつも笑顔でいることを心がけています。

名取北高生の印象は？

毎朝昇降口に立っています。皆さん挨拶が素晴らしく、朝から清々しい気持ちになります。また、休み時間や部活動であっても元気がよく挨拶してくれるので、私も見習っていきます。

名取北高生にメッセージを？

高校生活でたくさんの方の友を作り、楽しい学校生活を送ることができるよう、一日一日を大事にしてください。そして自分の選んだ道に進めるように努力してください。応援しています。校内で見かけたら、気軽に声をかけてください。

新型コロナウイルス感染症対応についてのお願い

昨年度から、新型コロナウイルス症対応にご協力いただきありがとうございます。「ほけんだより」等でもお知らせしているところですが、今年度もよろしく願っています。

○朝の検温と健康観察の実施

⇒発熱・風邪症状の場合は、学校に連絡の上、自宅で休養してください。

現在地域感染レベルは「レベル2」のため、同居家族の症状も同様の対応になります。

○本人・家族がPCR検査対象になった場合

⇒学校に連絡をお願いいたします。

5月行事予定

5/12(水)2年 科目選択説明会

13(木)内科検診

17(月)～21(金)学校公開週間

19(水)1年 科目選択説明会 耳鼻科検診

20(木)2年 歯科検診

26(水)生徒総会

28(金)眼科検診

カウンセリング 5/11(火)・21(金)・28(金)